



図書館通信

2026/10(Vol.5)

甲府南高校

開館時間

8:30~16:50
残留学習16:50~18:50

貸出冊数(マンガも含む)

6~9月 ランキング

- | | |
|---------------|------------------|
| 1. 1年5組(157冊) | 1. 1-5 H.S(117冊) |
| 2. 3年1組(149冊) | 2. 2-6 Y.I (67冊) |
| 3. 教職員 (147冊) | 3. 3-1 K.Y (54冊) |
| 4. 2年1組(104冊) | 4. 1-1 Y.O (43冊) |

今年も多読賞の景品を差上げます!
(ただし、マンガは10冊で1冊分とカウント)
※4月~1月末の貸出冊数を集計



- | | |
|---------------|-------|
| アズキの起源 | 内藤健著 |
| 二番目の悪者 | 林大林作 |
| 指先から旅をする | 藤田真央著 |
| スマホを見てただけなのに! | 鈴木雄也著 |
| 夜想い | 住野よる著 |

※上記は一部です。新着図書は毎月70冊程度入ります

Pick UP 私の教員人生を変えた2冊

私が喜多川泰さんの本に出合ったのは30代の頃でした。担任としてクラス経営に取り組む中で、「何かが足りない」「もっと成長したい」という思いを抱き、教育やクラス経営に関する本を数多く読んでいました。そんなある日、読んでいた本の中で喜多川さんの『賢者の書』が紹介されていました。その内容に強く惹かれたちょうどその頃、長野県上

教頭 関 博史



Illustration
by コミハギ(3-6)

田市で喜多川さんの講演会が開催されることを知り、参加しました。そこで聞いたお話や考え方に深く感銘を受け、それ以来大ファンになりました。今でも喜多川さんの講演会や勉強会には、時間のある限り参加するようにしています。喜多川さんの著書の中でも特におすすめしたいのが、『賢者の書』と『手紙屋 蛭雪編』です。

賢者の書

喜多川泰著
ディスカヴァー・トゥエンティワン

私が担任時代に何度も読み返した、まさに「バイブル」といえる一冊です。人生の目的や生きる意味について、小説を読み進めながら自然に考えさせられます。今でも年度の

はじめには読み返すようにしています。迷ったときや立ち止まったとき、いつも私を支えてくれた本であり、人生の最後まで傍らに置いておきたいと思うほど大切な一冊です。

手紙屋 蛭雪編

喜多川泰著
ディスカヴァー・トゥエンティワン

高校生の皆さんに特に読んでほしい一冊です。「何のために勉強するのか」「なぜ受験をするのか」。勉強に向かう意味や、受験にどのような心構えで臨めばよいのかを、物語を通

して考えさせてくれます。受験はゴールではなく、自分を成長させるための大切なプロセスであることを教えてくれる作品です。

人生の目的について考えるなら『賢者の書』、勉強する意味について考えるなら『手紙屋 蛭雪編』。どちらも高校生はもちろん、大人になっても心に響くおすすめの一冊です。喜多川さんの他の著書も全てお勧めですので、この2冊をきっかけに喜多川ワールドにどっぷりとハマってみてください。 関 博史

書店と図書館を巡って「甲州印伝」のしおりをゲットしよう!

やま読ラリー2026

図書館に行ったり、書店で税込み1,000円以上本を買ったりしてスタンプを4つ集めると、**甲州印伝のオリジナルしおり**がもらえる「やま読ラリー」開催中です。南高図書館もこれに参加しています。今年は、私もしおり作りのお手伝いをさせてもらったのですが、いろいろな模様や色があり、どれも素敵でした。甲州印伝は武田信玄も武具入れにしていたとされ、山梨が誇る伝統工芸品の一つです。ぜひ一つは持っていたい! スタンプカードはカウンターで配布しています。

